○○町　地区防災計画（配布版）

令和　　年度版「　テーマを記入しましょう　」

１．地区の特性

この地区は、

|  |  |
| --- | --- |
| 南海トラフ地震の震度 | 震度６弱の揺れが予測されています。  立っていることが困難で、固定していない家具は大半が移動し、倒れるものもあります。古い木造家屋は、倒れるものもあります。 |
| 地震被害の危険度 | 建物倒壊等により道路が閉塞する可能性が高いです。 |
| 矢作川が氾濫した時 | ５ｍ～１０ｍの浸水が１日～３日続き、  氾濫流により家屋が倒壊するおそれがあります。 |
| 土砂災害の危険 | （具体的な場所を記入）に土砂災害警戒区域があります。 |
| 路上浸水の危険 | （具体的な場所を記入）で浸水が起こりやすく、浸水警報装置が設置されています。 |

このような災害から身を守るため、本紙を参考に活動に協力してください。

２．活動する場所

町防ぎょ隊本部や近隣待避場所、指定緊急避難場所は「○○町防災マップ」で確認してください。

３．組織の体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 総代 | 副総代  ・  会計  ・  幹事 | 対策部会 | 情報班  （　　名） |
| 警防班  （　　名） |
| 警戒班  （　　名） |
| 支援部会 | 誘導班  （　　名） |
| 救護班  （　　名） |
| 資材班  （　　名） |

４．活動内容

①地震活動タイムライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 町災害防ぎょ隊 | 住民 |
| 平常時 | 住民に対する啓蒙活動  訓練等の実施  計画等の見直し | 防災マップの確認、訓練参加  耐震化、家具の転倒防止  家庭内備蓄（３～７日分） |
| 発生前 | 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒・注意）が発表された場合は、住民に情報を伝達し、自主避難を呼びかける。（発表がなく地震が発生する場合もあります） | 日頃の備えを確認  避難準備  危険箇所を避けた生活  自主避難  （自主避難所は、市の情報を確認） |
| 地　震　発　生 | | |
| 発生直後 | 家族の安否確認・応急処置  防ぎょ隊本部設置（協会長）  候補地：○○公民館  本部に参集し、活動方針を検討（三役、部会長）  近隣待避場所に参集  組ごとに安否確認（組長）  役割に基づき活動する（各係）  ①情報伝達  ②初期消火  ③被災者救助  ④負傷者の搬送→○○中学校 | 家族の安否確認・応急処置  ガス、ブレーカーを止める  玄関に避難のサインを出して避難  近隣待避場所に避難  安否確認後、防ぎょ隊の活動に協力  組ごとに避難を支援し合いながら、  避難所まで避難 |
| 避　難　完　了　避難所：○○小学校 | | |
| 避難後 | 他の地区と協力し、避難所を運営  支援情報や生活再建情報の共有  被害の把握、町内のパトロール  復旧作業、片付け  行方不明者の捜索  状況により、炊き出しの検討 | 避難所運営に協力  防ぎょ隊の活動に協力  自宅の安全が確認でき次第、帰宅  自宅の被害が大きい場合は、仮設住宅などの設置を待つ |

②風水害活動タイムライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 町災害防ぎょ隊 | 住民 |
| 平常時 | 住民に対する啓蒙活動  訓練等の実施  計画等の見直し | ハザードマップの確認、訓練参加  マイタイムラインの作成  家庭内備蓄（３～７日分） |
| 大雨警報  洪水警報  暴風警報等 | 防ぎょ隊員で情報共有  今後の情報に警戒 | 庭の片付け  浸水対策  避難準備 |
| 矢作川早期  避難情報  第１次避難 | 防ぎょ隊員と高齢者世帯に情報共有  要支援者の避難を支援  続報の第〇次避難に警戒 | 避難に時間のかかる要支援者等は、  避難を開始  避難所以外の場所に避難できる人は、避難を開始 |
| 矢作川早期  避難情報  第〇次避難 | 町内全体に情報共有  避難の呼びかけ | 全員、避難を開始 |
| 警戒レベル３  高齢者等避難 | 防ぎょ隊員と高齢者世帯に情報共有  要支援者の避難を支援 | 避難に時間のかかる要支援者等は、  避難を開始  危険や不安を感じる人は、避難を開始 |
| 警戒レベル４  避難指示 | 町内全体に情報共有  避難の呼びかけ | 全員、避難を開始 |
| 避　難　完　了　避難所：△△小学校（※〇〇小学校は開設されません） | | |
| 被　害　発　生 | | |
| 避難後 | 他の地区と協力し、避難所を運営  支援情報や生活再建情報の共有  被害の把握、町内のパトロール  清掃作業、片付け  行方不明者の捜索  状況により、炊き出しの検討 | 避難所運営に協力  防ぎょ隊の活動に協力  浸水が収まり次第、帰宅  自宅が被害を受けた場合は、仮設住宅などの設置を待つ |

５．活動計画

①防災講座の開催

|  |
| --- |
| 例）  町民の防災意識啓発のため、年２回（５月、11月頃）の防災講座を開催します。  内容は出水期やその年に実施する訓練の内容を考慮して、防災課と相談します。  開催する際は、案内を回覧しますので積極的に参加してください。 |

②防災訓練の実施

|  |
| --- |
| 例）  災害時に迅速な避難と活動を行うため、年１回の防災訓練を実施します。  訓練は、避難訓練（地震）、避難訓練（風水害）、初期消火訓練、応急救護訓練、情報伝達訓練、避難所運営訓練などから選びます。ただし情報伝達訓練は、毎年必ず実施します。  訓練の内容は、防災課と相談して計画します。  開催する際は、案内を回覧しますので積極的な参加・協力をお願いします。 |

③資料等の見直し

|  |
| --- |
| 例）  町防災マップや防災計画は、定期的に見直しを行います。  マップに掲載の無いことや、防災訓練を踏まえて気が付いたことなどがあれば、総代まで教えてください。 |

■発行日：令和　年　月　日

■発行主体：○○町防災防犯協会（○○町内会）

■製作

・総代

・副総代

・会計

■協力

・岡崎市防災課